

卵を立てることから—卵熱

R e c r e a t i o n

UNNETSU

山葵塾

SANKAIJUKU



2018年3月25日 | 日 |

14:00開演(13:30開場)

北九州芸術劇場 中劇場

KITAYUKIHO PERFORMING ARTS CENTER

photo: Gan Fukuda design: Takashi Ando

一条の水と砂。卵とのひそやかな対話。

初演から30年、天児のソロパートを若手舞踏手に委ね、リ・クリエーションで再生する生命へのレクイエム

卵を立てることから—卵熟

Recreation

UNNETSU

無限大のおだやかな闇夜に、命の孤島がぼつりぼつりと浮かぶ。これら卵が羊水の温もりのなか、かすかなエコーを響かせて思惟をはじめ——未知への好奇心、自然への驚き、そして誕生への快哉と終焉への歎き。生命のクロノス時間の砂時計のつぶがざらざらと落下しはじめると、それは同時に、ゆったりと厳かに風化していく肉体の死をも暗喩する。誕生と死、生成と破壊。幸せな沈黙の殻を破り、生まれ落ちる満目騒音の世。命の残酷な両義性がここでは明快な修辞法で語られる。静かな薄光のなか、舞踏手たちは、ふっくらと美しい卵とのひめやかなダイアログをつむぐ。人はこの茫漠たる宇宙において刹那の直立時間に戯れ、他者とのミクロの悲喜哀歓の絆をむすび、ふたたび孤独に横たわっていく。生まれては頰れ、頰れては生まれる。愛おしくも矮小な命たちが、永遠との対話をくりかえしていく。(K.I)

山海塾は、睡然とさせる想像力をみせつける。純粋な美に満ちた流れは、観客を静かな夢の中へ没らせる。(ル・フィガロ)

「卵を立てることから—卵熟」は、極めて芸術的、象徴的迫力に満ち、深い感動を呼び起こす。(ル・マタン)

原初の素型としての卵との秘めやかな対話が始まる。楕円形の卵は、宇宙の素型の象徴であると同時に、肉体の、さらには霊的なものの素型の象徴でもあるだろう。宇宙の素型とは、水速であり連続するものの素型であり、肉体の素型とは限界を強いられる不連続の素型の象徴でもある。(アサヒグラフ)



演出・振付・デザイン=天児牛大 音楽=YAS-KAZ・吉川洋一郎

演出助手=蟬丸 舞踏手=竹内晶・市原昭仁・松岡大・石井則仁・百木俊介・岩本大紀

共同プロデュース=パリ市立劇場・山海塾 初演=1986年パリ市立劇場

2018年3月25日 | 日 | 14:00開演 (13:30開場)

◎チケット料金(全席指定・税込・当前共通)

一般 4,500円/ユース(24歳以下・要身分証提示) 2,500円

高校生[的]チケット 1,500円(高校生限定・枚数限定・劇場窓口・前売のみ)

○未就学児入場不可

○託児有(有料・定員有・要予約) <9:00~19:00受付>

お問い合わせ フリーダイヤル0120-400-829

◎一般前売開始

2018年1月21日(日)

◎チケット取扱

北九州芸術劇場 プレイガイド(10:00~19:00)

オンラインチケット(北九州芸術劇場HP)

093-562-8435(10:00~17:00土日祝除く)

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード480-442)

ローソンチケット 0570-084-008(Lコード84589)

◎お問合せ

北九州芸術劇場 093-562-2655 <http://q-geki.jp>

主催=(公財)北九州市芸術文化振興財団

共催=北九州市

助成=平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

後援=アンスティチュ・フランセ九州

化粧品提供=株式会社資生堂



北九州芸術劇場 中劇場

KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6階

【JR】JR小倉駅より徒歩約10分、JR西小倉駅より徒歩約3分

【バス】西鉄バス「室町・リバーウォーク前」もしくは「西小倉駅前」下車

【空港】北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約33分

【乗用車】北九州都市高速「小倉駅北」から約5分、「大手町ランプ」から約6分

リバーウォーク北九州(30分/150円)ほか周辺の駐車場をご利用ください
公演時劇場ロビーにてリバーウォーク北九州割引駐車券を販売しています